

幼児教育に役立つ動画を配信中！



YouTube  
のびラボチャンネル



幼児教育・小学校受験対策プリント  
ダウンロード販売サイト  
<https://www.nobilabo.com/>

©Nobilabo 2021 無断転載や内容を改ざんしての配布、転売などはご遠慮ください。

# はだかのおうさま



そのとき、ちいさな こどもが さげびました。  
「どうして おうさまは はだかなの？」

びっくりした まちの ひとたちは いっしょに しずまりかえりました。  
そして、  
「やっぱり おうさまは はだか なんだ。」「そうだ そうだ、はだか だよ！」  
ひとびとが さわぎはじめました。



あるひ、おしろに ようふくずきのおうさまの うわさを ききつけた したてやが やってきました。  
「わたしたちは、せかいで いちばん すばらしい ようふくをつくること が できます。」



むかし むかし、ようふくが だいすきな おうさまが いました。  
 おうさまは たくさんの すてきな ようふくを もっていることが じまん でした。  
 おうさまは いちにちに なんども ようふくを きがえました。  
 1 そうして、けらいたちにようふくを みせびらかしては よろこんで いました。



「ほう、それは いったい どんな ふく なのだ？」  
 おうさまは したてやに たずねました。  
 「とても とくべつな めのが ございます。  
 3 その めので つくった ようふくは おろかものには みるこが できないのです。」



みんなの こえは おうさまに とどきましたが、  
 とちゅうで パレードを やめる わけには いきません。  
 おうさまは みなに わらわれながら、はだかのまま まっかな かおで パレードを つづけました。



「どうだ、わしの ようふくは すばらしいだろう！」おうさまは ごきげん です。  
 ひとびとは おろかものと おもわれたくないために くちぐちに おうさまの ようふくを  
 ほめはじめました。  
 「すばらしい ようふくです！」「ほんとうに おにあいです！」



まちを あるく おうさまを みて まちの ひとたちは おどろきました。  
おうさまが はだかに 見える からです。  
「どうして おうさまは はだかなんだ？」  
「おろかものには ようふくが みえない そうだ。」

19



「おもしろい！ それを きていたら おろかもの の けらいが だれなのか すぐに わかるぞ！」  
おうさまは よろこびました。  
ところが、おしろにきた そのしたてやは、じつは さぎし だったのです。

4



「では おてつたいを いたしましょう。」  
「こちらが うわぎで ございます。おつぎは-ズボンで-ございます。」  
さぎしは おうさまに ようふくを きせるふりを しました。

「きごごちは いかが でしょう。」  
「うむ、まるで はだかのように かるやかだ。」  
おしろの ひとびとも、みえていないのが ばれないよう、つぎつぎに ほめました。

17



たくさんのおかねをもらった さぎしは さっそく ようふくを つくりはじめました。  
そして めのおっている ふりを しました。

6



にせもののしたてやは いいました。  
「おうさま、おうさま、とくべつな ぬのは とても おかねが かかります。」  
「おかねならいくらでも だそう！ だから はやく つくってくれ。」

5



おうさまは すっかり うれしく なりました。  
「そうだ！ この ようふくを きて パレードを しよう！」  
「きっと みんな ようふくの すばらしさにおどろくに ちがいない！」

18



いっぼう おうさまは あたらしい ようふくのことが きになって しかたありません。  
「いったい どんな ぬの なんだろう。」  
「ううむ、 きになって しかたない。 だいじんよ。 ようすを みてくるのだ！」  
おうさまは しょうじきもの の だいじんに めいれい しました。

7



「どうでしょうか。 かんそうを きかせてください。」  
さぎしが へいぜんと きくので、 おうさまは  
「なかなか よろしい。 よく やった！」と ごまかしました。  
「こ、これは…。 どうやって できれば よいのだ？」

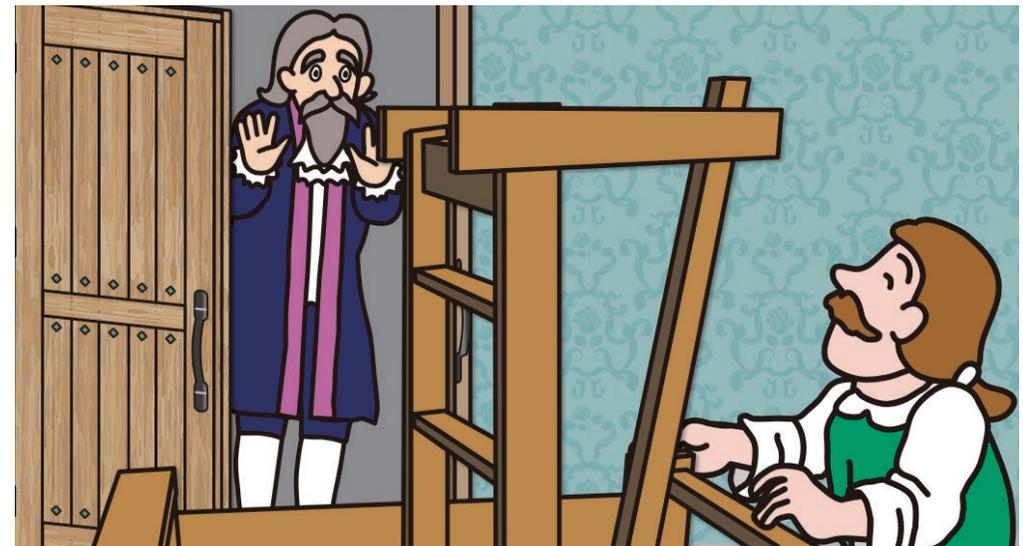
16



ついにかんせいしました。  
「おうさま、これがあたらしいようふくです。おきにめしましたでしょうか。」

おうさまは、なにもみえないのでおおあわてです。  
(なんと、わしにはなにもみえない！  
わしがおろかもものということか？このことはだれにもしられてはならない！)

15



しょうじきものだいじんはさぎしのへやにいきました。  
「したてやよ、すすみぐあいはいかがかな。」  
「いまようふくにつかうぬのをおっているところでございます。」  
さぎしはまるでそこにぬのがあるかのようにふるまいました。

8



そうしてついに、「それはそれはりっぱなようふくでございました。」  
とおうさまにうそのほうこくをしました。  
「そうかそうか。それはたのしみだ。」おうさまはとてもうれしくなりました。  
まじめなけらいは、とてもふあんになりました。

13



「だいじんよ、どうであった？」  
おうさまにたずねられただいじんは、  
「まことにみごとでございました。」とほうこくしました。

「そうかそうか。それはたのしみだ。」  
おうさまはあんしんしてにこにこしました。しょうじきものだいじんは、  
とてもむねがくるしくなりました。

10



ところが だいじんには なにも みえません。  
 (これは こまった…。 なにも みえない。わたしは おろかも の だったのか。)  
 しょうじきもの の だいじんは とても なやみました。  
 おろかも であることが ばれてしまうと、だいじんを やめさせられて しまうかも しれません。

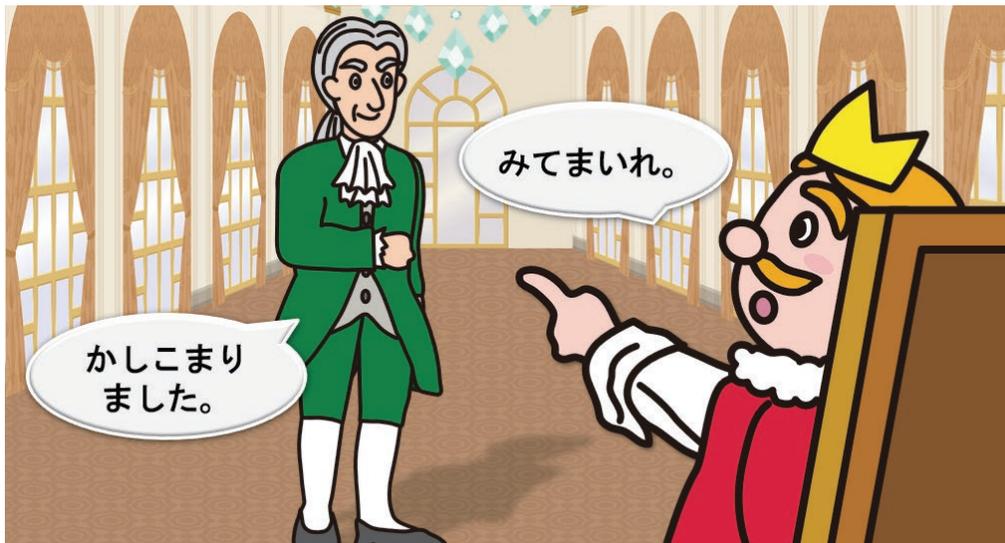
9



おしろの なかも おうさまの あたらしい ようふくの わだいでもちきりです。

「きっと すばらしい ようふく でしょう。」  
 「はやく みてみたいわ。」  
 「でも おろかも のには みえないらしいぞ。」  
 みんな ころのなかでは ようふくが みえなかったら どうしようと ドキドキ していました。

14



かしこまり  
 ました。

みてまいれ。

こんどは、まじめな けらいが みにいくことになりました。  
 「したてやよ、すすみぐあいは いかがかな。」  
 「いま このマントを ぬっている ところで ございます。」  
 さぎしは ほんとうに マントを ぬっている ように ふるまいました。

11



ところが けらいには なにも みえません。  
 (これは こまった…。 なにも みえない。わたしは おろかも の だったのか。)  
 まじめな けらいは とても なやみました。  
 おろかも であることが ばれてしまうと、けらいを やめさせられて しまうかも しれません。

12